



○営業時間の変更について

令和5年4月28日(金) 15時まで営業

令和5年5月31日(水) 15時まで営業

○ゴールデンウィークの営業について

令和5年4月29日(土): 休み

令和5年5月4日(木): 休み

令和5年4月30日(日): 休み

令和5年5月5日(金): 休み

令和5年5月1日(月): 営業

令和5年5月6日(土): 営業

令和5年5月2日(火): 営業

令和5年5月7日(日): 休み

令和5年5月3日(水): 休み

<注意>

「収穫〇日前」: 定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」: 農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

——【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 農薬の収穫前日数を遵守しましょう。

5月上旬

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫7日前 2回 100ml/水100㍓又は
モベントフロアブル 2000倍 収穫7日前 3回 50ml/水100㍓

○黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100㍓

5月中旬～下旬

○黒星病・すす斑病 パレード15フロアブル 2,000倍 収穫前日 2回 50ml/水100㍓

収 穫

梅酒用: 大きい果実から順次収穫し収穫後の直射日光は避けましょう。

漬梅用: 青みが抜けた大きいものから順次収穫しましょう。

——【キウイフルーツ】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

5月上旬 花腐細菌病 環状はく皮 (樹勢が低下している場合は実施しない)

蕾白化期(がく割れ) 5月1日頃に主幹に4~5.5mm幅で行いましょう。

5月中旬(開花前)

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫前日 1回 100ml/水100㍓

キウイヒメヨコバイ

摘 蕾 5月上旬～中旬

早期に側花や変形花を除去し、受粉効率と初期肥大を良くさせます。

5月の強風を考慮して花数の調整をしましょう。

人工授粉 5月中旬～下旬

石松子を使った受粉 5~10倍 開花2~3日までに受粉しましょう。

溶液受粉 250~300倍 希釈してから2時間以内に使い切りましょう。

—【かき】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—

病害虫防除 4月下旬～5月上旬

カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫前日 3回 25g/水100ℓ

落葉病 エムダイファー水和剤 650倍 収穫45日前 2回 153g/水100ℓ

摘蕾と人工授粉

摘蕾は伸長停止前後から開花期までに1結果枝に1蕾を基本とし、残す蕾は結果枝中央部の下向き・横向きとする。受粉作業は開花から2～3日の間に行いましょう。

—【温州みかん】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—

病害虫防除 5月中旬～下旬

灰色かび病・そうか病

フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50 ml/水100ℓ 又は

ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 3回 収穫14日前 25g/水100ℓ

そうか病多発園ではフロンサイドSCを散布しましょう。*かぶれには注意しましょう。

ミカンナガタムシ発生園では成虫の発生直前(5～6月)に樹幹及び主枝にガットサイドSを原液～1.5倍塗布

夏肥施用 5月下旬

特選みかん配合655 200kg/10a (吸収率を高めるため、6月中旬と2回に分けると効果的)

施肥後、軽く中耕します。反射シート被覆のため秋肥が施用できない場合は夏肥を多めにしましょう。

葉面散布 樹勢が低下している樹では尿素600倍を散布し、樹勢の回復を図りましょう。

—【中晩柑】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。—

病害虫防除 5月中旬～5月下旬

灰色かび病 ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

又はフロンサイドSC 2000倍 収穫30日前 1回 50 ml/水100ℓ

※灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布します(多発園は2回)

コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫14日前 3回 25g/水100ℓ

湘南ゴールド・はるみ(かいよう病に弱い品種) 5月中旬～5月下旬

かいよう病【単用散布】

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

+ クレフノン 200倍 500g/水100ℓ (葉害軽減のために加用する)

※マシン油散布とは2週間以上あける

湘南ゴールド、はるみ、レモンは、かいよう病に罹病しやすいので薬剤による防除をしましょう。

栽培管理・樹勢強化

葉面散布 5～8月に不知火・はるみの樹勢強化を目的に尿素600倍の葉面散布を行いましょう。

はるみは、着花量が多いと樹勢の低下につながります。

はるみ、不知火は上部1/3～1/4を摘蕾や早期摘果をし、樹勢の強化を図りましょう。

—【お茶】—

生葉管理

摘採した生葉は、長時間かごや袋につめて茶園に放置すると、品質が悪くなりますので注意しましょう。(日中の気温が高い日等は特に)

更新

樹高が高くなりすぎた園や極端な芽数型の園は、深刈りや中切り更新をしましょう。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

